

## 平成31年度 あおいこども園 自己評価について

【自己評価の目的】： 就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づいて自己評価を行い、教育及び保育の質の向上に努めること。

保護者アンケートや職員一人ひとりが自己評価を行い分析することで、園全体の評価につなげています。3月実施の保護者アンケートにつきましては、保護者の皆さまにご協力いただき、ありがとうございました。平成31年度より幼保連携型認定こども園に移行したことで、認定こども園における役割など、園内外の研修を通して職員の質の向上が園の評価につながるよう取り組んでまいりました。あおいこども園の良さを地域・保護者の方々にお伝えできるように今後も職員一丸となって、努めていきます。

つきましては、平成31年度のあおいこども園の自己評価を下記の通りご報告いたします。

### 【評価方法】

22項目の設問を基に日ごろの保育を振り返りながら、職員一人一人が自分のことを自己評価します。

22項目の設問には、さらに各項目ごとに5つの設問(詳細)があります。職員全体の評価を数値化することで、園全体の課題として振り返り、今後のよりよい保育環境づくりに努めます。

A.他の保育教諭に指導できる B.自らの力でできる C.指導されればできる D.まだできていない

### 【職員の個人別自己評価の結果 前年度との比較】 別紙参照

全体的に前年比よりパーセンテージがアップしています。まず、伸び率が悪い項目として、「子ども一人ひとりに対応できる保育を行っているか」「気になる子の教育・保育、発達支援保育について理解し、実践しているか」という項目があげられます。その点に関しては、こども園へ移行したことにより、園児の入園増に伴い、初めての集団生活など様々な背景の中、子ども一人ひとりへの適切な援助や配慮ができていないという観点から、試行錯誤している職員の気持ちの表れであろうと考えられます。当園では、月一回の園内研修に臨床心理士である専門家(大学の教授)を招いて、保育コンサルテーションを実施しています。日頃の教育・保育を振り返り、専門的な立場からの助言を仰ぎながら、より学びを深めていくことと、発達支援保育についても対象児童の情報を共有し、一人ひとりの支援の仕方について担当職員だけでなく職員全体で考える場を設け、実践へと繋げていけるよう取り組んでいます。また、こども園の移行初年度ということで、職員全体で、教育・保育について一から見直し、計画・実践を行ってきました。キャリアアップ研修や、園外研修等で学んできたことを職員間で共有し、発達に応じた環境構成や援助の仕方、心構えなどを話し合う時間を設けたり、職員の発想力なども

発揮できるような取り組みを行ってきました。今後とも、職員自ら常に教育・保育を振り返り、子ども一人ひとりへの理解を深め、より適切な自己評価に取り組み、園の課題を明らかにして、その解決を図りながら、継続的に子ども園の教育・保育の質の向上に努めていけるよう進めていきたいと思ひます。

## ① 評価

去年比

(1) 社会人として意識をもち、組織について理解し、行動しているか	86%	↑ 6%
(2) あいさつや言葉づかいなどの正しい基本行動を実践しているか	83%	↑ 2%
(3) 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行等、組織人の基本的対応ができているか	73%	↑ 4%
(4) 適宜適切に連絡・相談するなど、迅速な問題の解決に貢献しているか	81%	↑ 6%
(5) 職場のコミュニケーションに配慮し、良好な人間関係の構築に努めているか	80%	↑ 4%
(6) チームワークの重要性を理解して行動しているか	85%	↑ 7%
(7) 職務に創造的態度で向き合い、新しい事柄への能動的な取り組みをしているか	75%	↑ 3%
(8) 子どもの情緒の安定に配慮した行動ができるか	78%	↑ 6%
(9) 子どもに対し、あそび・その他の活動への関心を高められる環境の設定が理解できているか	76%	↑ 5%
(10) 子どもの人権に配慮した言動ができているか	80%	↑ 6%
(11) 子どもの表現力を養う関わりができているか	78%	↑ 10%
(12) 保育活動における受容の態度について理解し、実践しているか	76%	↑ 6%
(13) 子ども一人ひとりに対応できる保育を行っているか	76%	↑ 3%
(14) 子どもの発達、成長を理解した保育を行っているか	74%	↑ 5%
(15) 園外保育における留意点を理解し、保育ができているか	76%	↑ 7%
(16) 食育の実践としての保育現場での働きかけができているか	73%	↑ 3%
(17) 健康管理やけが防止などの、安全管理に関する行動ができているか	78%	↑ 4%
(18) 気になるお子様の保育、障がい児保育について理解し、実践しているか	71%	—
(19) 保護者に対する適切な支援とはどのようなものかを把握し、実行しているか	75%	↑ 2%
(20) 苦情対応などの困難なコミュニケーションに向き合い、保護者と信頼関係を構築できているか	71%	↑ 4%
(21) 地域社会との連携や子育ての支援事業について理解し、必要な役割を担うことができているか	67%	↑ 5%
(22) 指導計画等を適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実践できているか	67%	↑ 3%

② キャリア別評価

去年比

(1) 保育経験 0～4年

77%

↑ 6%

(2) 保育経験 5～10年

74%

↑ 7%

(3) 保育経験 11～20年

75%

↑ 15%

(4) 保育経験 21年以上

86%

↑ 1%

③ 職務別評価

(1) 保育教諭

主任、副主任、専門リーダー

74%

↑ 7%

副主任補佐、専門リーダー補佐、職務分野別リーダー、保育士

79%

↑ 3%

(2) その他

調理、看護師、事務員、その他

68%

↑ 9%